

ねねね、ネオニコチノイドってなあに？

-新農薬ネオニコチノイドについて“未来に向けたみんなの意見”づくり大公開-

今、日本社会では 3.11 原発震災復興という大きな問題に関心が集中しています。このことは当然ですが、10年、20年後の社会を考えると、他にも沢山対処していかなければならない問題があります。

その中でも今回の企画は「ネオニコチノイド系農薬」の問題について取り上げます。長年、弊害が指摘されてきた有機リン系農薬に替わって、特定の昆虫にだけ作用し人体や環境への影響は少ないというふれこみでネオニコチノイド系農薬は登場しました。その使用量は、日本においてこの10年で3倍に急増しています。それと同時にミツバチの大量死や人間への悪影響が報告されている等の社会的問題は、まだ一般にほとんど知られていません。一昨年、人気マンガ『美味しんぼ 105 巻』でネオニコチノイドについて扱われたことは記憶に新しいことでした。

そこで、この問題について私たち市民はどのように考えていくべきなのか、そして未来に向けてどのような対応をすべきなのか、多面的な視点から考え議論をする「アドボカシーカフェ」を全4回シリーズで開催します。

この連続企画を通じて、たくさんの皆さんとともに自分たちの未来を自分たちで選択していくための、一つの行動指針をつくり上げたいと思っています。



全4回シリーズ概要

開催場所・時間などが各回で違いますので、お気をつけください。
全回事前申込制となりますので、お申し込みのうえお越しください。

- 第1回 「ミツバチからのメッセージ」 (事前申込制定員 30人、資料代：500円)
日時：3月17日(土) 13:30~17:30
場所：新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASKビル 4F 会議室
ゲスト：後藤和明 氏(らでいっしゅぼーや株式会社・Radix の会)
藤原誠太 氏(養蜂家・ネオニコチノイド系農薬の使用中止を求めるNGOネットワーク代表)
- 第2回 「子どもを守るための予防原則」 (事前申込制定員 30人、資料代：500円)
日時：4月28日(土) 14:00~18:00
場所：新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASKビル 4F 会議室
ゲスト：大竹千代子 氏(化学物質と予防原則の会代表)
黒田洋一郎 氏(元東京都神経科学総合研究所)
- 第3回 「ネオニコ問題をナナメに切る」 (事前申込制定員 30人、資料代：500円)
日時：5月12日(土) 14:00~18:00
場所：新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASKビル 4F 会議室
ゲスト：高安和夫 氏(銀座ミツバチプロジェクト)
鈴木菜央 氏(greenz.jp 発行人)
- 第4回 フォーラム「私たちはネオニコ問題をこう考える」 (事前申込制定員 200人、資料代：1,000円)
日時：6月9日(土) 13:30~17:30
場所：オリンピックセンター国際会議室
ゲスト：雁屋哲 氏(『美味しんぼ』原作者)
田中優 氏(未来バンク、天然住宅ほか)

主催：認定NPO法人まちぽっと、一般社団法人 act beyond trust, 国際環境NGO A SEED JAPAN

お申し込みは info@machi-pot.org にお名前と連絡先を

もしくは [03-3200-9250](tel:03-3200-9250) まで FAX を





ねねね、ネオニコチノイドってなあに？

-新農薬ネオニコチノイドについて“未来に向けたみんなの意見”づくり大公開-

ネオニコチノイド系“農薬”というと農家や地方の問題であって、都会に住む人は関係ないと思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、都会の人が虫食い野菜や果物は嫌だということ、生産者も農薬を使わざるを得ません。農家の方が体を害してしまえば、もちろん消費者である都会の人もその影響を受けます。

ネオニコチノイド問題を農家や地方だけの問題と捉えるのではなく、都会・地方との別なく市民の問題として捉えなければならないのではないのでしょうか。

とは言っても、考えた事もないこと、身近ではないことについて考えるのは難しいことです。そこで、第3回では地方の農村と都会を結ぶ、都会に住みながら環境について考えるといった新しい視点からビジネスを行っている方々をお迎えします。その方々のお話を聞き、農薬という“遠い”問題として捉えるのではなく、私たちの生活に身近な問題として捉えることで、ネオニコチノイド問題の解決の糸口をみつきたいと思います。

第3回テーマ 「ネオニコ問題をナナメに切る」 (事前申込制 定員 30人)

日時：5月12日(土) 14:00 ~ 18:00

場所：新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4F 会議室

資料代：500円

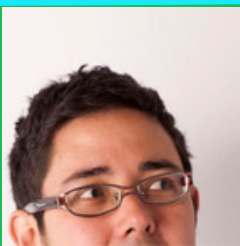
ネオニコチノイドのような環境化学物質に頼らない農業と暮らしの姿を、政治とも市民運動とも違うソーシャルビジネスの切り口から考えます。生産者の生活と消費者をつなぎ、より良い選択を社会の中で行っていくために流通や事業が果たす役割について学ぶ中から、私たちのできる行動について話し合いたいと思います。

講演者



高安和夫氏 (銀座ミツバチプロジェクト理事長)

1965年千葉県養豚農家の長男として生まれる。大学卒業後、住宅会社勤務を経て、1999年農業生産法人(有)アグリクリエイイトへ入社。2003年取締役東京支社長就任。現在に至る。2006年より都市と自然環境の共生を目指し銀座の屋上で養蜂をスタート。ミツバチを通じて都市と農村を結ぶ活動を積極的に行っている。また、全国の森、里、街そして海をつなぐサステナブルネットワークフェスタ、「ファーム・エイド銀座」を毎年開催している。



鈴木菜央氏 (greenz.jp 発行人)

1976年バンコク生まれ東京育ち。2002年より3年間「月刊ソトコト」にて編集。独立後2006年「あなたの暮らしと世界を変えるグッドアイデア」をテーマにしたWebマガジン「greenz.jp」創刊。2007年よりグッドアイデアな人々が集まるイベント「green drinks Tokyo」を主催。メディアとコミュニティを通して持続可能でわくわくする社会に変えていくことが目標。

主催：認定NPO法人まちぼっと、国際環境NGO A SEED JAPAN
一般社団法人 act beyond trust,

お申し込みは

info@machi-pot.org にお名前と連絡先を

もしくは03-3200-9250までFAXを

認定NPO法人まちぼっと

〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル5F

E-mail: info@machi-pot.org

Tel:03-5941-7948 Fax:03-3200-9250

